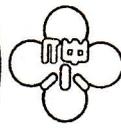


仲町だより



穏やかに・力強く

校長 澤井 英子

記録的な猛暑や豪雨など、異常気象の夏休みでしたが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

夏休みの最終週に行われた、恒例ラジオ体操には、小学生だけでなく、幼い子からお年寄りまで、大勢の皆さんが参加してくださいました。

日を追うごとに、体がよく伸び、よく曲がり、力強く動くようになりました。

生活リズムを整え、9月からの学校生活の準備に、最適な取り組みだと改めて感じています。役員の皆様はじめ、ご協力いただいた皆様に、厚くお礼申し上げます。

【夏休み雑感】

私は、都会の喧噪を離れ、谷あいの過疎の村に、一週間ほど逗留しました。急峻な地形で、清涼な谷川に沿って、古くからたたずむ村です。夜、村内を少し歩けば、街灯すらない真っ暗闇。天の川がはっきり横たわり、星座を確認することが難しい程の満天の星空に、思わずため息。谷底を流れる川のせせらぎが響き、ヒンヤリした山の空気が、心地よい眠りを誘います。

村の生活は、ほとんどが自給自足の農業で、厳しい自然環境を上手に取り入れた人々の英知に基づいていました。日の出とともに、畑で一仕事。暑い時間帯は室内でゆっくり休み、食事の準備を整え、涼しくなってからまた一仕事。採れた野菜を主体に、自家製の麺類を主食とした食事は、どれもおいしく、栄養バランス満点。地にしっかりと足をつけ、穏やかに生きる人々の力強さも感じさせます。

都会の便利な生活に慣れ、日々慌ただしく生きる私にとって、穏やかに、力強く生きる人々の生活は、衝撃でした。古代から連綿とつながる時間の中で、育まれた人々の生活の知恵のすばらしさに、心洗われる思いがしたのです。

【交通事故0に向けて】

春に、校外委員の皆さんを中心に実施していただいた通学路の安全点検を元に、心配箇所を確認をしました。

関係機関（警察・交通規制課・土木事務所）と、保護者（校外委員さん・PTA役員）と校長で校区を回り、一つ一つ点検しました。自動車に、学童への注意を呼びかける掲示板や、道路標示の新設など、お願いしました。関係機関の皆様は、丁寧に対応していただきます。学校の周りが、整えられてきていることを感じます。

道路に飛び出す子供や、歩き方・自転車の乗り方のルールやマナー違反をする子供がいたのでは、大人が皆で心を配っていても、交通事故を防げません。学校では、日々穏やかに過ごせるよう呼びかけて参りますが、ご家庭での指導もよろしく願いいたします。

また、平成25年 秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）では、夕暮れ時と夜間の歩行中や、自転車乗用中の交通事故防止を重点に取り組むことが挙げられています。『秋のつるべ落とし』と言われるほど、夕暮れが早くなるこれからの時期。明るく目立つ色の服装だと、自動車の運転者からよく見え、事故防止につながることなど、具体的に指導して参ります。

【学習環境の整備】

夏休み前からお願いしていた、図工室の化粧直し、机・床・棚の整備が終わり、見違えるほどきれいな部屋になりました。

また、西階段の塗装が終わり、階段全体が明るくなりました。『環境が人を創る』といえます。子供たちにとって、できるだけ穏やかな居心地のよい環境に整えられるよう努めて参ります。